

# Flebo オフィス (FNX0660) の紹介



フレッツ・オフィス / フレッツ・オフィスワイドに対応  
L2-VPN内を更にグルーピング(サブグループ化)が  
可能でサブグループ毎にIPサブネット化が可能

**Flebo**

All rights reserved, Copyright(C) Fujikura Ltd. 2003

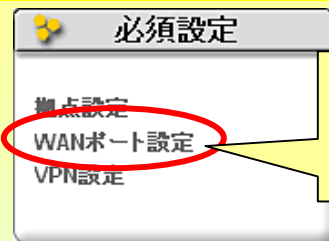


SL71-11-05-1214(2)

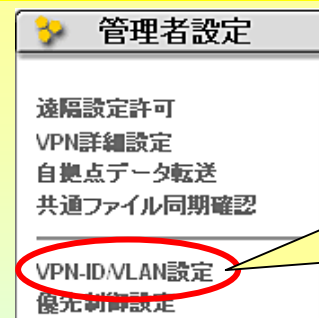
# Flebo オフィス (FNX0660) & Flebo (FNX0610)



## Flebo オフィス (FNX0660)

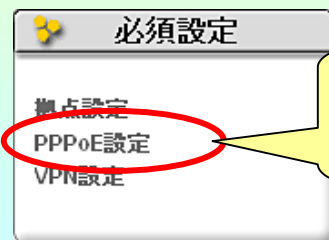


「PPPoE のオン / オフ」や  
「払出 IP アドレス」の設定  
を行う

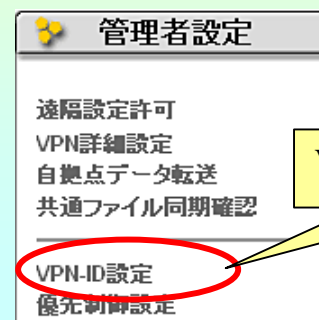


VLAN タグを「透過」もしく  
は「マップ」のどちらにす  
るか設定を行う

## Flebo (FNX0610)



従来どおり FG / FGA の  
「ユーザ ID」と「パスワー  
ド」の設定を行う



VPN-ID の設定を行う







## Flebo オフィス (FNX0660)

**管理者設定**

- 遠隔設定許可
- VPN詳細設定
- 自拠点データ転送
- 共通ファイル同期確認
- VPN-ID/VLAN設定**
- 優先制御設定

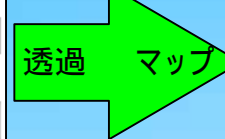
自拠点VPN-ID/VLAN設定    他拠点VPN-ID読出し

VLANタグ     透過する     マップする

VPN-ID    0 (デフォルト値は0です)

設定

**VLANタグを透過**  
VLANタグはそのまま透過する設定



自拠点VPN-ID/VLAN設定    他拠点VPN-ID読出し

VLANタグ     透過する     マップする

全ての拠点を同一マッピングにする     個別にマッピングにする

VPN-ID    0    User Priority    0

設定

**VLANタグをマップ**  
VLANタグをVPN-IDに対応させる設定

## Flebo (FNX0610)

**管理者設定**

- 遠隔設定許可
- VPN詳細設定
- 自拠点データ転送
- 共通ファイル同期確認
- VPN-ID設定**
- 優先制御設定

自拠点VPN-ID設定    他拠点VPN-ID読出し

VPN-ID    0 (デフォルト値は0です)

設定

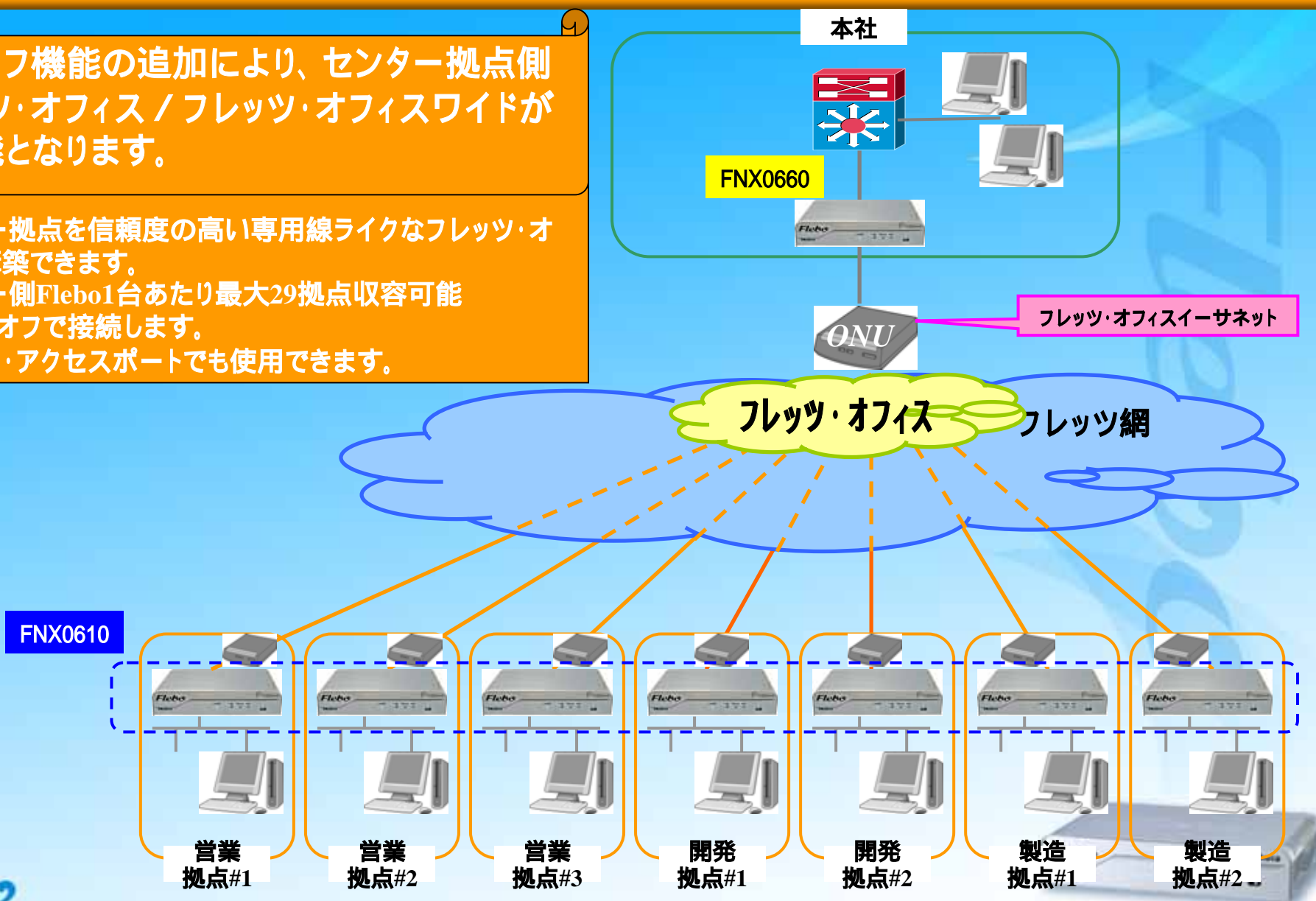
**VLANタグを透過**  
VLANタグはそのまま透過する設定 (FNX0660と同様)



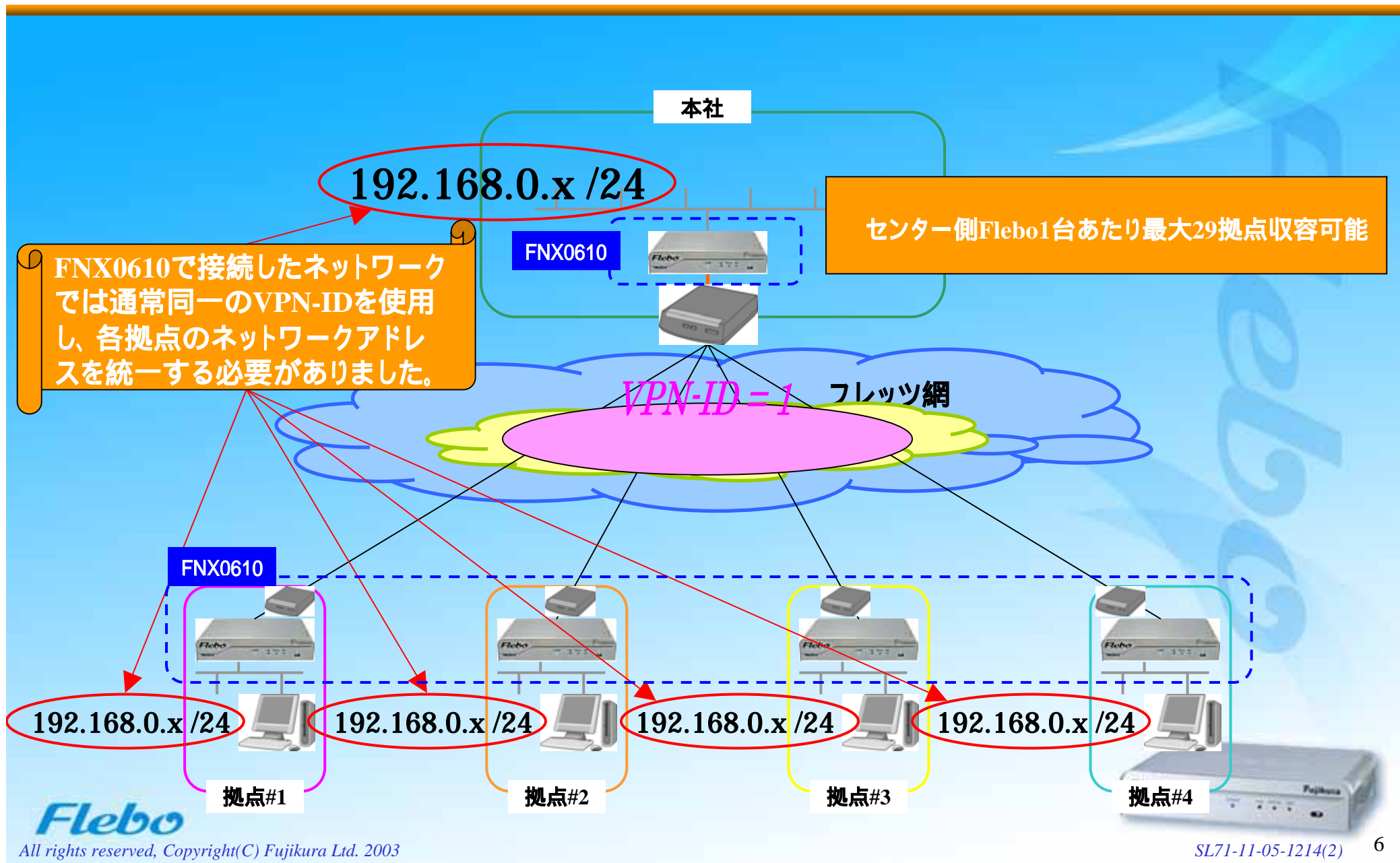
# フレッツ・オフィスに対応

PPPoEオフ機能の追加により、センター拠点側にフレッツ・オフィス/フレッツ・オフィスワイドが利用可能となります。

センター拠点を信頼度の高い専用線ライクなフレッツ・オフィスで構築できます。  
センター側Flebo1台あたり最大29拠点収容可能  
PPPoEオフで接続します。  
フレッツ・アクセスポートでも使用できます。



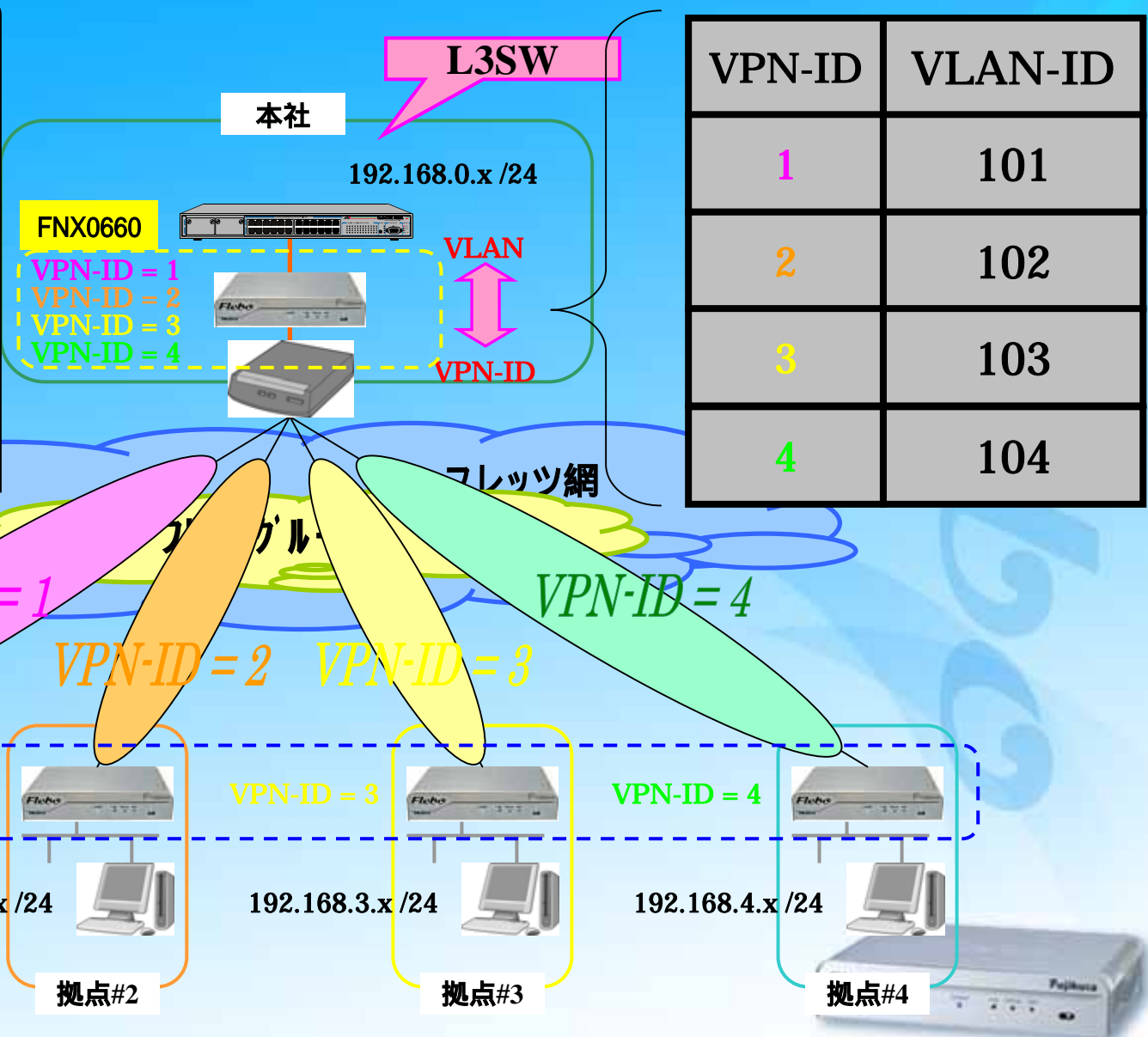
# FNX0610のときの構成



# サブネット化

VPN-IDとセンター側VLANをマッピングすることにより、VPN内をIPサブネット化することが可能となります。

これにより、既にルータで構成されているネットワークからの移行、収容端末数が多い場合のセグメントの分離などが可能となります。センター側Flebo1台あたり最大29拠点収容可能



FNX0610

VPN-ID = 1

VPN-ID = 2

VPN-ID = 3

VPN-ID = 4

192.168.1.x /24

192.168.2.x /24

192.168.3.x /24

192.168.4.x /24

拠点#1

拠点#2

拠点#3

拠点#4

# 参考：パケット転送フォーマット

